

いるまの企業 プチ自慢

第36回 (株)タムラ製作所 入間事業所

狭山ヶ原16-2
☎2934-6134
設立 昭和43年8月
<https://www.tamura-ss.co.jp/>

タムラ製作所は、大正13（1924）年に「田村ラヂオ商会」として創業し、昭和14（1939）年に現在の「(株)タムラ製作所」として設立された歴史のある電機企業です。

入間市狭山ヶ原の武蔵工業団地の一角に位置する入間事業所では、はんだ付け用材料やプリント配線板材料などの電子化学材料を取り扱っており、製品開発、製造、販売部門を有する従業員約200人を抱える事業所です。その前身は、現在の東京都分寺市に設立された化学専門の研究所でした。昭和43（1968）年に現在の地に移転した際、タムラ化研株式会社と改名し、その後、親会社のタムラ製作所に平成22（2010）年に吸収合併され、現在に至ります。

5）年の製品は、昭和10（1935）年に開発した高品質のラジオ受

信機用トランスから始まり、多種多様なトランス関連製品、リフロー装置（自動はんだ付け装置）等の製品を展開しています。当事業部から生まれた製品は、日本初の完全非腐食性はんだろう接剤（フラックス）をはじめ、パソコンのCPUで有名な大手半導体メーカーから認められた半導体パッケージや高い信頼性を要求される自動車向けに使用されるはんだペースト、スマートフォンなどに使用されるフレキシブル基板用ソルダーレジスト（絶縁材）などがあり、主力製品となっております。これらの製品は、多くの顧客から品質と技術力に高い評価を頂いています。一般的には、馴染みの薄い工業用材料ですが、身近な電気製品に使用されています。



フラックス

昨年8月には「彩の国オープンファクトリーin入間」に参加し、小学生向けに当社製はんだを使い、光センサー搭載の車型ロボットを組み立てる、モノづくり体験を行いました。今後も当社は、ユニークな発想でオンリーワン製品を目指し、社会に貢献していきます。また、入間市工業会の活動を介して地域の皆様にも愛される企業を目指していきます。